

授業改革と 動き育てる組織づくりの **ススメ** vol.3

第3号で紹介するのは、石狩管内教育推進の重点1の「対話」を重視した授業改革と、ICTを有効活用した授業改革について、児童生徒の実態に合わせた対話やICTの活用を進めている事例です。

対話を重視した授業改革とICTを有効に活用した授業改革の実践事例

江別市立大麻東中学校（特別支援学級） 数学



数学の体積の学習において、具体物を比較し、生徒同士や教師との対話によって結果を予想し、実際にかさを量って検証しました。生徒は、対話や実験を通して学びを深めていました。

北海道白樺高等養護学校 情報



情報の学習において、夏休みの思い出をスライドショーにまとめる際に、データをクラウドで共有しながら対話をする中で、生徒は考えを広げたり深めたりしていました。

千歳市立千歳小学校第3学年 理科



理科の「チョウを育てよう」の学習において、1人1台端末を活用し、チョウの成長の様子を動画で確認しました。さらに、チョウの成長について、友達と対話しながら理解を深めていました。

北広島市東部中学校第3学年 国語



国語の「論語」の学習において、端末で作成したワークシートをクラウド上で共有し、自身の考えと似た相手や考えの違う相手との対話により、価値交換を行っていました。

【担当から】

管内の各学校において、対話やICTを有効に活用した授業改革を進めています。今後も全ての子どもに必要な資質・能力の確実な育成に向け、取組を充実させていきましょう。

(義務教育指導班主任指導主事 清水 拓海)